

# 函館線大沼駅構内貨物列車脱線事故

## 【概 況】

- 発生日時：2013（平成 25）年 9 月 19 日（木）18 時 05 分頃
- 場 所：函館線 大沼駅構内
- 列 車：帯広貨物駅発 熊谷貨物ターミナル行 8054 列車（現車 17 両）
- 概 要  
貨物列車が出発後、6 両目の後台車全 2 軸、7 両目の前台車全 2 軸、8 両目の全 4 軸及び 9 両目の前台車全 2 軸が脱線しました（負傷者無し）。  
その後の調査で、軌道変位が整備基準値を大幅に超過した状態であったにもかかわらず補修されていなかったこと、事故直後に軌間変位が 39 mm であるところを 25 mm に改ざんされていたことが判明しました。  
また、他の箇所でも線路未補修、検査データの改ざんが行われていたことが判明しました。



## 【原 因】

脱線開始点付近の軌道変位が、軌道整備基準値に比較して大きかったこと、さらには連続して犬くぎの食い込みや浮き上がりが存在していたことから、レールの小返りおよび滑動が発生して軌間が動的に拡大し、軌間内脱線の限度値を超過したことにより発生したと考えられます。

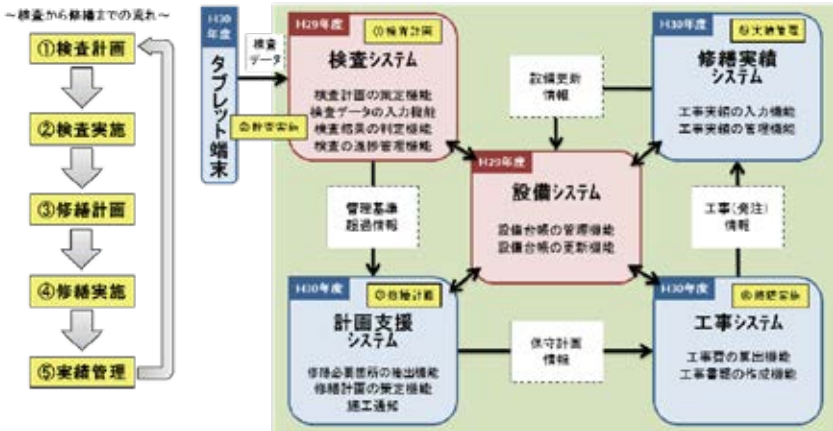
## 【事故後の対策】

### 記録を重視する検査ルールの見直し

- ・検査データの記録および管理ルールの明確化
- ・検査データに対する多重チェックの実施及び軌道変位管理体制の見直し
- ・線路維持管理マニュアルの制定

### システム化による検査データの信頼性向上

- ・新たな保線設備管理システムの導入
- ・新型トラックマスターの導入
- ・記録装置付きデジタル標準ゲージの導入
- ・新型高速軌道検測車の導入
- ・各種検査器具類の統一化



システムの構成と検査から修繕までの流れのイメージ



新型トラックマスター



新型軌道検測車「マヤ 35 形」

### 本社による現業機関への支援及び指導体制の確立

- ・工務部内に業務支援室を新設し、管理室の検査業務の支援を実施
- ・保線課長等が保線所の定例会議に出席し、意見交換の他、業務実施状況に対するフォローを実施
- ・専用ファイルサーバーを活用した各保線所等と本社との業務プロセス管理 (PDCA) の体系化

### 線路設備の更新・強化及び修繕の推進

- ・PC マクラギ化・ロングレール化等の推進
- ・修繕に関する 5 カ年計画を策定し、必要な軌道修繕費を確保



PC マクラギ化工事（根室線）

### コンプライアンスの強化と保線技術者の育成

- ・保線関係全社員に対して保線技術者講習会の実施
- ・「保線安全の日」の取り組み
- ・コンプライアンス勉強会の実施
- ・コンプライアンス職場内講習会の実施
- ・コンプライアンス相談窓口の改善、周知徹底



「保線安全の日」の講話